

急性期充実体制加算等の施設基準に係る届出書添付書類

(新規・7月報告)

1. 許可病床数

許可病床数	床
-------	---

2. 急性期充実体制加算の施設基準

※□には、適合する場合「✓」を記入すること。

<input type="checkbox"/> 急性期一般入院料 1 を算定する病棟を有する保険医療機関である。 <input type="checkbox"/> 急性期一般入院料 1 を届け出ている病棟について、一般病棟用の重症度、医療・看護必要度Ⅱを用いて評価を行っている。			
1 手術等に係る実績	以下のいずれかを満たしている。 <input type="checkbox"/> アの(イ)及び、(ロ)から(ヘ)までのうち 4 つ以上を満たしている。 <input type="checkbox"/> イの(イ)又は(ロ)を満たし、かつ、アの(イ)及び、(ロ)から(ヘ)までのうち 2 つ以上を満たしている。		
	以下に年間件数又は許可病床 1 床あたりの年間件数※ ¹ を記入※ ² すること。 ※1 () の許可病床 1 あたりの記載は、許可病床数 300 床未満の保険医療機関において記入すること。 ※2 基準に該当するとして届け出るもののみの記入で差し支えない		
	ア	(イ) 全身麻酔による手術 (2,000 件／年以上) (6.5 件／年／床以上)	件／年 (許可病床 1 床あたり 件／年)
		うち、緊急手術 (350 件／年以上) (1.15 件／年／床以上)	件／年 (許可病床 1 床あたり 件／年) 病院において、「手術が緊急である」と判定する仕組：
		(ロ) 悪性腫瘍手術 (400 件／年以上) (1.0 件／年／床以上)	件／年 (許可病床 1 床あたり 件／年)
		(ハ) 腹腔鏡下手術又は胸腔鏡下手術 (400 件／年以上) (1.0 件／年／床以上)	件／年 (許可病床 1 床あたり 件／年)
(ニ) 心臓カテーテル法による手術 (200 件／年以上) (0.6 件／年／床以上)		件／年 (許可病床 1 床あたり 件／年)	

	<table border="1"> <tr> <td>(ホ) 消化管内視鏡による手術 (600 件／年以上) (1.5 件／年／床以上)</td><td>(許可病床 1 床あたり 件／年 件／年)</td></tr> <tr> <td>(ヘ) 化学療法 (1,000 件／年以上) (3.0 件／年／床以上)</td><td>(許可病床 1 床あたり 件／年 件／年)</td></tr> <tr> <td rowspan="2">イ</td><td>(イ) 異常分娩 (50 件／年以上) (0.1 件／年／床以上)</td><td>(許可病床 1 床あたり 件／年 件／年)</td></tr> <tr> <td>(ロ) 6 歳未満の乳幼児の手術 (40 件／年以上) (0.1 件／年／床以上)</td><td>(許可病床 1 床あたり 件／年 件／年)</td></tr> </table>	(ホ) 消化管内視鏡による手術 (600 件／年以上) (1.5 件／年／床以上)	(許可病床 1 床あたり 件／年 件／年)	(ヘ) 化学療法 (1,000 件／年以上) (3.0 件／年／床以上)	(許可病床 1 床あたり 件／年 件／年)	イ	(イ) 異常分娩 (50 件／年以上) (0.1 件／年／床以上)	(許可病床 1 床あたり 件／年 件／年)	(ロ) 6 歳未満の乳幼児の手術 (40 件／年以上) (0.1 件／年／床以上)	(許可病床 1 床あたり 件／年 件／年)							
(ホ) 消化管内視鏡による手術 (600 件／年以上) (1.5 件／年／床以上)	(許可病床 1 床あたり 件／年 件／年)																
(ヘ) 化学療法 (1,000 件／年以上) (3.0 件／年／床以上)	(許可病床 1 床あたり 件／年 件／年)																
イ	(イ) 異常分娩 (50 件／年以上) (0.1 件／年／床以上)	(許可病床 1 床あたり 件／年 件／年)															
	(ロ) 6 歳未満の乳幼児の手術 (40 件／年以上) (0.1 件／年／床以上)	(許可病床 1 床あたり 件／年 件／年)															
2 外来化学療法の実施を推進する体制	1 のアの(ヘ)を満たしているものとして届出を行っている場合のみ記入すること。 <input type="checkbox"/> 外来腫瘍化学療法診療料 1 の届出を行っている。 <input type="checkbox"/> 化学療法のレジメンが委員会により承認され、登録されている全てのレジメンのうち、4 割以上のレジメンが外来で実施可能である。																
3 24 時間の救急医療提供	ア 該当するものを記載すること。 <input type="checkbox"/> 救命救急センター又は高度救命救急センターを設置している <input type="checkbox"/> 救急搬送件数 (2,000 件／年以上) (6.0 件／年／床以上) <div style="text-align: right;">件／年 (許可病床数 1 床あたり 件／年)</div> イ ・精神科医が速やかに診療に対応できる体制 (<input type="checkbox"/> 自院 ・ <input type="checkbox"/> 他院) (他院の場合は当該保険医療機関名を記載：) ・精神疾患診療体制加算 2 の算定件数又は救急搬送患者の入院 3 日以内における入院精神療法若しくは救命救急入院料の「注 2」に規定する精神疾患診断治療初回加算の算定件数の合計 (20 件／年以上) 件／年																
4 高度急性期医療の提供	以下の入院料のうち、届け出ている入院料の病床数を記入すること。 <table border="1"> <tr> <td><input type="checkbox"/> 救命救急入院料</td><td>床</td></tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 特定集中治療室管理料</td><td>床</td></tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> ハイケアユニット入院医療管理料</td><td>床</td></tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 脳卒中ケアユニット入院医療管理料</td><td>床</td></tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 小児特定集中治療室管理料</td><td>床</td></tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 新生児特定集中治療室管理料</td><td>床</td></tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 総合周産期特定集中治療室管理料</td><td>床</td></tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 新生児治療回復室入院医療管理料</td><td>床</td></tr> </table>	<input type="checkbox"/> 救命救急入院料	床	<input type="checkbox"/> 特定集中治療室管理料	床	<input type="checkbox"/> ハイケアユニット入院医療管理料	床	<input type="checkbox"/> 脳卒中ケアユニット入院医療管理料	床	<input type="checkbox"/> 小児特定集中治療室管理料	床	<input type="checkbox"/> 新生児特定集中治療室管理料	床	<input type="checkbox"/> 総合周産期特定集中治療室管理料	床	<input type="checkbox"/> 新生児治療回復室入院医療管理料	床
<input type="checkbox"/> 救命救急入院料	床																
<input type="checkbox"/> 特定集中治療室管理料	床																
<input type="checkbox"/> ハイケアユニット入院医療管理料	床																
<input type="checkbox"/> 脳卒中ケアユニット入院医療管理料	床																
<input type="checkbox"/> 小児特定集中治療室管理料	床																
<input type="checkbox"/> 新生児特定集中治療室管理料	床																
<input type="checkbox"/> 総合周産期特定集中治療室管理料	床																
<input type="checkbox"/> 新生児治療回復室入院医療管理料	床																
5 感染対策	<input type="checkbox"/> 感染対策向上加算 1 の届出を行っている。																
6 24 時間の画像診断及び検査体制	(<input type="checkbox"/> 有 ・ <input type="checkbox"/> 無)																

7 薬剤師の当直体制を含めた24時間の調剤体制	(<input type="checkbox"/> 有 ・ <input type="checkbox"/> 無)
8 精神科リエゾンチーム加算等の届出	<input type="checkbox"/> 精神科リエゾンチーム加算の届出を行っている。 <input type="checkbox"/> 認知症ケア加算1の届出を行っている。 <input type="checkbox"/> 認知症ケア加算2の届出を行っている。
9 入院患者の病状の急変の兆候を捉えて対応する体制	ア 院内迅速対応チームの構成員（救急又は集中治療の経験を有し、所定の研修を修了した者の名前を記載すること。） ・医師： ・専任の看護師：
	イ 病状の急変の可能性がある入院患者及び病状が急変した入院患者の対応状況に関する改善の必要性等について提言するための責任者名：
	ウ 病状の急変の可能性がある入院患者及び病状が急変した入院患者の対応の改善に関する委員会又は会議の開催日：
	エ 院内講習の開催日（開催予定日）： 1回目 月 日 2回目 月 日
10 外来縮小体制	ア 該当するものを記入すること。 <input type="checkbox"/> ・初診に係る選定療養の届出を行って実費を徴収している。 <input type="checkbox"/> ・紹介割合の実績が50%以上かつ逆紹介割合の実績が30%以上 <div style="border: 1px dashed black; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <input type="checkbox"/> ・令和4年度に逆紹介割合又は逆紹介割合が、基準を満たしていない場合に、令和5年度の届出を実施可能とするために予定している、確実な取組： 院内で設定している数値目標： </div> <input type="checkbox"/> 紹介受診重点医療機関である。
	イ 前年度1年間の初診・再診の患者数を記入すること。 ① 初診の患者数 () 名 ② 再診の患者数 () 名 ③ 紹介患者数 () 名 ④ 逆紹介患者数 () 名 ⑤ 救急患者数 () 名 ⑥ 紹介割合 () % ⑦ 逆紹介割合 () %

〔記載上の注意〕

- 1 「2. 急性期充実体制加算の施設基準」の「3」のアを記入した場合には、24時間の救急体制を確保していることを証明する書類を添付すること。
- 2 「2. 急性期充実体制加算の施設基準」の「5」の「初診の患者数」「再診の患者数」「紹介患者数」「逆紹介患者数」「救急患者数」「紹介割合」「逆紹介割合」については区分番号「A000」初診料の「注2」及び「注3」並びに区分番号「A002」外来診療料の「注2」及び「注3」に規定する算出方法を用いること。
- 3 各実績において「年間」とは、前年度4月1日～3月31日の期間を指す。
- 4 「3. 精神科充実体制加算の施設基準」の「2」については、精神疾患を有する患者に対し、24時間対応できる体制を確保していることを証明する書類を添付すること。
- 5 様式6を添付すること。
- 6 「1 手術等に係る実績」「2 外来化学療法の実施を推進する体制」について、院内への掲示物について、A4サイズに縮小し、添付すること。
- 7 「2」の化学療法のレジメンについて、がん腫・レジメンのリスト及びレジメンごとの年間実施実患者数（入院・入院外別）の集計表を添付すること。